

受理第4-4号

請 願 書

件 名

宇治市飼い主不明猫の避妊・去勢手術の補助金等導入を求める請願

紹介議員

木本 裕章、服部 正、山崎 恭一、鳥居 進、

金ヶ崎 秀明

請願の趣旨

現在、日本の保健所等では、多くの猫が引き取られ、殺処分されています。令和2年度では、全国で約55,580頭の猫が引き取られ、このうち、約26,410頭が殺処分されました。京都府内においても、令和2年度は約960頭の猫が引き取られ、このうち、半数にあたる約480頭が殺処分されました。

飼い主の知識不足や無責任により、遺棄された猫が市内で繁殖し、多くの猫が殺処分される運命にあります。宇治市内の「飼い主不明猫(いわゆる野良猫)の増加」と「保健所による猫の引き取り及び殺処分の増加」を防止するため、私たちは、猫のTNR活動(避妊・去勢手術)を行い、猫の数を制限することが必要だと考えます。

補助金等の制度により、手術費用の負担が軽減されるため、宇治市民が積極的にTNR活動を行うことができ、地域における猫による被害や苦情を減らすことにも繋がります。また、全国的にも、自治体による猫の手術補助金を活用する動きが広がっています。

宇治市としても、人と動物が共生し、環境を改善しながら共に安心して暮らせる街を目指すべく、下記のいずれかを実現していただきたく、請願を提出いたします。

(※TNR活動とは、T=TRAP(捕獲)・N=NEUTER(避妊・去勢手術)・R=RETURN(元の場所へ戻す)のことです。)

記

請願の項目

1. 猫のTNR活動(避妊・去勢手術)の補助金の予算化
2. 公益財団法人どうぶつ基金による行政枠(猫の無料不妊手術)の申請

以上

令和4年9月20日

宇治市議会議長
堀 明人 様

請願者 (代表) 宇治さくらねこの会

住所

名前 廣瀬由季子

電話番号

小林 智栄美

藤原 麻里